



第20号

発行所
久慈地区保護司会

常陸太田市町田町163-1
電話・FAX 0294-87-8770

e-mail:
kujisaposen@kjc.biglobe.ne.jp
<https://kujichiku-hogoshikai.com/home/>



百段階段 ひな祭り

(撮影 山崎仙一)

こうした社会情勢の流れを受け、国においても、保護司の担い手不足や活動環境の整備といった課題に対し、持続可能な制度の確立に向けた検討が進められております。保護司の皆様は、行政と地域をつなぐ大切な存在として、犯罪や非行をした人たちの就労や生活支援、相談活動など幅広い役割を担っておられます。その活動は、地域の中で確かな信頼を築き、未来への希望を育む尊いものです。

本市といたしましても、保護司の皆様が安心して活動に専念できるよう、関係機関との連携を一層密にし、地域全体で支える包括的な体制づくりを推進してまいります。

誰もが再出発できる社会の実現に向け、引き続き保護司の皆様のお力添えを賜りますようお願いを申し上げますとともに、久慈地区保護司会の益々のご発展と、皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げます。「更生保護久慈」発刊にあたってのあいさつとさせていただきます。

久慈地区保護司会の皆様におかれましては、日頃から犯罪や非行をした人たちの立ち直り支援や非行防止、青少年の健全育成などの犯罪予防活動に献身的に取り組んでいただいておりますことに、深く敬意を表しますとともに、心より感謝を申し上げます。

さて、テレビや新聞では、毎日のように事件や犯罪のニュースが報道されており、中でも凶悪犯罪や高齢者等を狙った特殊詐欺事件は後を絶たず、被害は深刻です。こうした犯罪が生じる背景には、経済的困窮や社会的孤立の深まり、地域や家族とのつながりの希薄化など、複合的な社会課題があると指摘されております。



ごあいさつ

常陸太田市長 藤田 謙二



心穏やかに暮らせる 地域を目指して

水戸保護観察所長 宮澤 由紀

久慈地区保護司会の皆様には、更生保護についての深い御理解の下、日頃から処遇活動や地域活動に御尽力いただいておりますことに、まずもって感謝を申し上げます。

今年度の異動で水戸保護観察所に参りました。当県での勤務は初めてで、歴史ある、文化、緑の溢れる本県で勤務できることを大変有り難く、また、誇りに思っています。

さて、全国の犯罪等の状況を見ますと、刑法犯認知件数は、平成14年をピークに全体としては減少傾向ではあるものの、コロナ禍を経てここ数年は増加に転じています。特に、特殊詐欺やサイバー犯罪、児童虐待や配偶者に対する暴力事案などは多い状況です。

例えば特殊詐欺では、どここの誰かも分からない共犯者に個人情報や渡してしまい、悪質な犯罪と気付いても誰にも相談できずにそのまま犯行に至る場合や、児童虐待や配偶者に対する暴力など、閉鎖性の高い家庭

内で状況を悪化させていく場合が見られます。

保護観察を受けている人にとって、誰かに相談したいと思ったとき、身近なところで自らに関心を寄せ相談を受けてくれる人として、また、秘密を守って家庭内以外の風を入れてくれる人として、保護司の皆様が存在は大変大きいものがあると思います。

ところで、昨今の刑法等の改正により、昨年は、刑罰の在り方について、いわゆる「懲らしめ」から、出所後の社会復帰に向けた「教育」に軸足をシフトさせる拘禁刑が開始されました。また、従前と比べて執行猶予中の保護観察を付けやすくする仕組みも導入されるなど、犯罪・非行をした人の地域社会での更生に対する関心の高まりを感じます。

新たな被害者も加害者も生むことなく、心穏やかに暮らせる地域を目指して、今後も変わらぬ御協力をよろしく願います。



会長就任にあたって

久慈地区保護司会会長 岡部 芳雄

令和7年度の地区総会におきまして、皆様のご推挙をいただき会長に就任いたしました。長年にわたり地域に根ざし、更生保護と再犯防止に尽力していただいた諸先輩方の歩みに深く敬意を表するとともに、その志を受け継ぎ、伝統と信頼を大切にしながら、微力ながらも誠心誠意努めていく所存であります。

就任後、間もなく一年が過ぎようとしています。その間、地区内の保護司の皆様さんをはじめ関係者の方々温かいご指導、ご支援のもとに会の運営と各種事業の推進に努めて参りました。お陰様で各種事業も順調に展開しており、感謝申し上げます。特に前会長の森一史様の気配りと懇切丁寧な指導には、改めて敬意と感謝を申し上げます。

犯罪や非行のない明るい社会・地域づくりには、そこに住む人々の願いであります。しかし、犯罪件数は減少傾向にあるものの、再犯率が増加している課題も依然として残っております。

社会環境が大きく変化する中で、地域へのつながりが希薄になる一方、私たち保護司の役割はますます重要になってまいります。



保護司と保護観察官の『二人三脚』

水戸保護観察所保護観察官 長屋 篤典

平素から保護観察業務に対する御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

4月から久慈地区の担当官に着任し、半年以上が経過したところですが、保護司あつての保護観察であることを日々の業務の中で、身に染みて感じております。

担当保護司と保護観察官の二人三脚で対応するケースでは、日々の面接、状況聴取、関係構築を保護司が行い、指導や不良措置等の厳しい措置を観察官が行うといった「鉛と鞭」のような役割分担が可能です。しかし、観察官が単独で担当

犯罪や非行のない安心・安全な地域づくりのために久慈地区保護司会が力を合わせ、その役割を果たせるよう努力して参りたいと存じますので、より一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

すると、日々の面接を行いながら、厳しい指摘や措置を行う必要があり、場合によっては対象者が逃げ道を失い、面接不出頭や所在不明といった、保護観察から離脱してしまうリスクもあります。

したがって、保護司の皆様が事件を担当し、保護観察対象者との日々の関わりを保って定期報告をしていただくことは、保護観察官にとっても、非常に心強いものなのです。この二人三脚は、運動会シーズンに限らず、年中しっかりと継続していきたいものです。

第64回茨城県更生保護大会が開催



期日：11月8日 ザ・ヒロサワシティ会館にて

おめでとつございます

令和七年度 表彰の栄に浴した方々

銀杏の黄葉が輝く秋晴れの日に、第64回茨城県更生保護大会が開催されました。

本大会は、県下の更生保護関係者が一堂に会し功労者の顕彰を行い、士気の高揚と意識の統一を図り、本制度の充実発展を期し、犯罪や非行のない明るい社会

づくりに応えようとするものです。

藍綬褒章

菊池 均 (大 子)

法務大臣表彰

城石加代子 (常陸太田)

全国保護司連盟理事長表彰

白石 敬雄 (常陸太田)

関東地方更生保護委員会委員長表彰

岩間 克則 (常陸太田)

関東地方保護司連盟会長表彰

大森 勝夫 (大 子)

関東地方更生保護女性連盟会長表彰

更生保護女性会員

石川 公子 (常陸太田)

茨城県知事感謝状

(保護司・永年勤続)

森 一史 (常陸太田)

(社会を明るくする運動・民間協力者)

かわねやフェスタ店

水戸保護観察所長表彰

佐川 和広 (常陸太田)

水戸保護観察所長感謝状

(保護司・永年勤続)

仁平 忠良 (大 子)

水戸保護観察所長感謝状

更生保護女性会員

大森 絹子 (大 子)

吉村 昌子 (常陸太田)

渡邊千恵子 (常陸太田)

茨城県保護司会連合会会長表彰

岡部 智子 (常陸太田)

神永 敏 (大 子)

小澤三智子 (常陸太田)

小瀧 孝男 (常陸太田)

茨城県保護司会連合会会長感謝状

更生保護女性会員

藤田 洋子 (大 子)

茨城県更生保護女性連盟会長表彰

更生保護女性会員

豊田 康子 (大 子)

生田目和子 (常陸太田)



出会いに感謝

菊池 均

平成2年11月、当時の法務大臣梶山静六さんより拝命、30数年が過ぎようとしています。

当時、子供たちはまだ小学生、自分の子供がどう育つのか知る由もなく保護司などできるのか？子供を含め家族で話し合い「自分の戒めのため保護司を引き受ける」と記憶が詠みかえりました。振り返れば、新任研修から始まり、何も知識がなく研修に参加してみればすべての方は私より年上であり、社会経験の豊富な色々な地位の方でした。たまたま新任研修で知り合った二人の方とは末永い付き合いをさせていただきました。

研修後すぐ担当することになり。いやなことは忘れて、楽しい事を心に刻むように努力すべきとスタートしました。うれしい出来事は結婚披露宴に2回招待されたこと、またその子供たち

ちが、(私にとっては孫と同じ) 高校、社会人として立派に活躍していると高校の先生に話を聞いた時には自分のこと以上にうれしかったです。後悔する事も数あり、あの時こうしていれば、手紙を書いてやっておれば、なぜ、声をかけてやれなかったのかと後悔しています。

受賞は30数年間に私的、公的、たくさんの方々いろいろな面で迷惑をかけ、私一人での受賞でないことを忘れてはならないと感じております。振り返ってみれば環境の違う対象者に教わり、たくさんさんの保護司の先生に出会い、保護司の先生は色々な分野での仕事の経験者から教授を願い、ご指導いただいたことに感謝申し上げます。



法務大臣表彰を
受賞して



城石加代子

第64回茨城県更生保護大会が去る11月13日に開催され、その席上で法務大臣表彰を賜り身に余る光栄と存じます。

平成17年11月に保護司に委嘱され、今日まで水戸保護観察所・地区保護司会並びに更生保護に携わる多くの皆様方の温かいお心遣いとご指導によるものと心より感謝申し上げます。

この間に携わった数々の事業の中で特に記憶に残っているのは無から有を生み出した「常陸太田市更生保護女性の会」の設立です。50年の歴史を持つ「更生会」が県内で唯一未設置でした。当時の支部長故川崎喜包様と一緒に約2年をかけて常陸太田市社会福祉課のご理解とご協力をいただき準備を進めました。平成21年1月21日に「設立総会」を開催し発足することが出

来ました。水戸保護観察所長、茨城県更生保護女性連盟会長並びに更生保護関係者の悲願達成の喜びに満ちた期待溢れるご祝辞をいただきました。この時の更生保護女性の会会員達は緊張とどんな一歩を踏み出すの不安の色を隠せない面持ちでした。16年前の忘れられない一日です。

今では他更女会と肩を並べて活動している会員のパワー溢れる活躍と笑顔を誇りに思います。

これからも自己研鑽を重ね更生保護活動に力を尽くして参りたいと存じます。

全国保護司連盟理事長
表彰の栄に浴して



白石敬雄

このたびは、全国保護司連盟理事長表彰という身に余る栄誉を賜り、誠にありがとうございます。これもひとえに、日頃よりご指導・ご支援をいただいております関係機関の皆様、そ

して久慈地区保護司会の新先輩・同僚の皆様のお力添えの賜物と、心より感謝申し上げます。

保護司として委嘱を受けてから約20年、微力ながらも地域の更生保護活動に携わってまいりましたが、対象者やそのご家族、地域の方々から多くのことを学ばせていただきました。今回の受賞を励みとし、初心を忘れることなく、今後も地域社会の安全と立ち直り支援に尽力してまいりたいと存じます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

関東地方更生保護委員会
委員長表彰を受賞して



岩間克則

この度、第64回茨城県更生保護大会においてはからずも関東地方更生保護委員会委員長表彰を賜りました。これもひとえに多くの関係者の皆様方のご指導ご鞭撻のおかげと深く感謝申し上げます。

げます

この受賞を機に今後も保護司としての責務を自覚しながら微力ではありますが更生保護のために日々精進してまいります。

関東地方保護司連盟会長
表彰を受けて



大森勝夫

さらに研鑽しなさいとの激励が受賞理由と思っております。研修会では、人の交友関係はそれぞれ多様であることを学び、人生の初期は本人の意思に関係なく人的環境が決まっている不条理さに気がつきます。そこから形成された心情を持つ対象者から見た保護司はどのようなに映るのか。相手の心情を理解しようと寄り添い同じ目線になってようやくお互いの言葉が通じ合うように思います。実務が少ないので研鑽を積み重ねばなりません。

茨城県知事感謝状(永年)
を受けて



森 一史

第64回茨城県更生保護大会において、茨城県知事感謝状(永年)を賜り身に余る光栄と感激しております。

平成19年3月25日に保護司に任命されて、19年になります。この度の受賞は、水戸保護観察所や保護司の皆様のお力添えや温かいご支援の賜物と深く感謝しております。

今後とも微力ですが、更生保護活動に最善を尽くして参りたいと存じます。



水戸保護観察所長賞を受賞して



佐川和広

この度、水戸保護観察所長表彰を拝受しました。保護司を拝命してまだ5年、この間で保護司としての活動は2件です。それも久慈地区保護司会の仲間のサポートを貰いながらでした。保護司の活動は相手との信頼関係をどう作るか、距離感をどう取っていくかだと思っています。今後も保護司として対象者に寄り添いながら、地域の安全と立ち直り支援に微力を尽くしていきたいと思えます。

茨城県保護司会連合会会長表彰の栄に浴して



神長 敏

11月13日の県民の日に、

ザ・ヒロサワ・シティ会館において開催された茨城県更生保護大会の席上で、茨城県保護司連合会会長表彰を戴きましたことは、保護司として感無量であり、今までご指導いただきました水戸保護観察所及び久慈地区保護司会の皆様に感謝申し上げます。

令和2年に保護司を拝命して5年が経過しましたが、実績も無いままでの受賞は面映ゆい感じですが、後にも保護司としての誇りを大切に、微力ではございますが、お役に立ちたいと考えております。



小澤三智子

この度、茨城県保護司連合会会長表彰を賜り、心から御礼を申し上げます。保護司を拝命して初めての対象者は、薬物で再犯三度目の女性でした。慣れない面接に無力感もありましたが、保護観察終了後、「病気のことで心配してもらったことに感謝している」と言っていたと、担当観察官から伝え聞き、少しでも役

に立てたと嬉しく思ったことを覚えています。これからも対象者に寄り添い、少しでも更生のお手伝いが出来たらと思っています。



岡部智子

この度は、茨城県保護司連合会会長表彰を賜り、心から感謝申し上げます。コロナ禍で始まった活動は、研修会の中止やレポート提出など戸惑う事ばかりでした。また、初めての保護観察の案件では、対象者と向き合う時の雰囲気づくりや言葉選び、そして自分の心のゆとりが必要だと痛感しました。

今後、皆様のご指導を頂きながら、更生保護活動を力を尽くして参ります。



小瀧孝男

この度の第64回茨城県更生保護大会において、茨城県保護司会連合会会長表彰

を受賞いたしました。令和3年7月に保護司を拝命してから今日まで、久慈地区保護司会の諸先生をはじめ、保護観察所の皆様の温かいご指導とご理解があったの受賞と、深く感謝いた

新任保護司紹介



和田清典

地区の先輩保護司の方から依頼され不安ながら引き受けました。力不足で未熟な自分に何ができるかわかりません。保護司としての重責にも押しつぶされそうです。しかし、引き受けた以上は、微力ながら対象の方の更生のため、自分のできることを一つ一つ行っていきたいと思えます。どうか先輩の皆様方のご指導ご支援をよろしく願います。



しております。これからも日々変化する社会情勢に対応できるように学びの姿勢を忘れず、安全・安心な地域づくりに微力ながら尽力してまいります。



生天目 忍

今まで関わることのないような犯罪や非行をした人たちにボランティアとして関わることに、多くの不安を感じているところです。犯罪や非行は、日常生活のつまずき、環境や心理状態の変化などの積み重ねから生じやすいと言われていくことから、保護司の先輩方から事例に基づいた対応方法等を教えていただき、対象者への丁寧な行動に心がけてまいります。



退任挨拶



仁平忠良

昨年11月末で保護司を退任致しました。

平成7年に保護司を拝命した当時は、暴走族等の少年非行が多かったのですが、地域的な偏りもあり、保護観察も環境調整も担当は数えるほどでした。

大子支部長(地区副会長)の10年間は、支部研修を兼ねた東北の「秘湯巡り」が印象に残っております。

令和3~4年は地区会長を務めさせていただきました。折からの「コロナ渦」でICT化が推進され、サポセンにネットと、Wi-Fi環境を整えました。「@ハート」への登録は、地区全体では63%に留まったことが心残りです。皆様方の今後のご活躍と、久慈地区保護司会の発展をお祈り致します。



豊田明

拝命を受け令和7年11月で満期を経て、退任することになり、諸先輩の御指導の基で

過ごすことが出来ました。保護司と言う職責を知らずお受けして、対象者を受け、どの様に接すれば良いか、迷いながらの面接が続きまして。今までの私の職歴では只々一生懸命に自分の職責に向かい、心と体を動かす事でした。保護司という職責は私にとって言葉との闘いでした。言葉定らずとも笑顔で接する気持ちで当たったように思います。

その様な17年間は今までの活動とは違ったように感じました。それでも諸先輩の皆様や地域の方々を支えられ助言を受けながら感謝の気持ち一杯です。これから先の私の人生に於いて貴重な宝物になりました。有難うございました。末筆ながら久慈地区保護司会皆様方の御活躍と御健康、御多幸をご祈念いたします。長い間お世話になりました。



尾崎英明

令和7年7月17日付にて、定年により退任いたしました。在任期間12年と短期では有りましたが、その間環境調整を含め7人を担当させて頂き無事任務を全う出来ました。これひとえに、皆様のご支援ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。今後は神社とお寺様のお手伝いを中心に世間と関わって行きたいと思っ

ています。末筆に成りましたが更生保護活動が益々充実する事を祈念致します。



赤須通重

令和7年7月、任期を終え退任いたしました。当時の太田支部長さんが突然訪れてきて、保護司就任の依頼をされました。保護司の使命や仕事についてよく理解しないまま引き受けました。就任1年過ぎたころ初めて担当を持ち、その後6名ほど担当しました。研修時などに、諸先輩からご指導・ご助言をいただき、また、体験談・意見を伺えたことは、大変ありがたく思えました。担当した人との面接が難しく感じ、「罪を犯した人の更生保護」にどこまで貢献できたか今でも甚だ疑問に感じております。

様々な職種の方々、また遠方の方々との出会いを通して、多くの貴重な経験を得ることができました。長いようで短かった16年間、大変お世話になりました。感謝申し上げます。最後に、これからも保護司会の益々のご発展と皆様のご活躍を祈念いたしまして、退任の挨拶いたします。

各部会の取り組み

総務部会

活動報告

城石加代子

総務部会の役割としての保護司会の運営や組織活動の活性化を目指しています。

○久慈地区保護司会定期総会

5月7日

常陸太田市商工会館

○理事会・役員会

4月10日 令和8年3月

○常陸太田支部総会

5月27日 常陸太田市役所

○大子支部総会

5月21日 リバーサイド奥久慈

○定期駐在

5回の予定が中止となり、観察官の指導によりパソコン研修を行いました。

○賛助会員募集

保護司会の活動にご支援をいただいている企業や個人の方々に感謝を申し上げます。支部事業運営に有効に活用しています。

・賛助会員

常陸太田支部 54件

大子支部 33件

・水戸保護観察所長表彰

10年継続

(有)井上鉄工所・長嶋塗

装店・大子町商工会・株式会社大藤店

20年継続

宗教法人普門寺

30年継続

(医)藤慈会藤井病院・有

限会社やまぶんオフィス パートナー



○第64茨城県更生保護大会 11月13日 ザ・ヒロサワ・シテイ会館

○面接場所の確保

常陸太田市、大子町のご理解とご協力により対象者との面接が自宅以外の公共の場所で行えるようになりました。

○ICT化推進委員会

茨城県保護司会連合会の「ICT化推進のためのモデル地区」の指定を受けて、ホームページの更新に取り組みました。ホームページを是非ご覧ください。

委員会開催 8回

○新任保護司説明会

11月17日 サポートセンター

久慈地区保護司会の概要や各支部での活動内容等について説明し理解を深めました。



犯罪予防部

犯罪予防部長 岩間 克則

【久慈地区】
第35回樹輪
親父の出番親子木工教室
令和7年6月15日



【常陸太田支部】
第75回社会を明るくする運動
(以下社明運動と記す)
常陸太田市推進委員会
令和7年7月3日

藤田市市長を委員長とする推進委員会を開催し、今年度二年間の取り組みについて協議しました。その後奥山太田警察署長の講話を拝聴しました。

社明運動街頭キャンペーン
令和7年7月24日

市立里美中学校の生徒を含む11団体総勢131名が参加しました。大和寺商業施設3店舗の駐車場等で、ティッシュ等の啓発用品を配布しながら啓発活動を行いました。

社明運動作文コンテスト審査

令和7年9月11日

市内小学校から57点、中学校からは106点の応募がありました。サポートセンターにお

いて支部の保護司14名で審査し、小学生の部3点、中学生の部5点を県に推薦しました。応募いただいた児童生徒さんに感謝いたします。あいさつ声かけ運動
令和7年11月6・7日



【大子支部】
第75回社明運動大子町推進委員会
令和7年6月13日



岸田総理大臣からのメッセージを出村尚英支部長が高梨哲彦大子町長に伝達しました。その後、実施要綱や具体的な取り組みについて協議しました。

社明運動街頭キャンペーン
令和7年7月17日

関係機関・団体の代表者等の参加のもと、町内の大型商

業施設の駐車場等で買い物客などに手作り削り華等を配布し啓発活動を行いました。社明運動作文コンテスト審査
令和7年9月11日

大子町役場会議室において、小学校・中学校あわせて41点の応募があり、大子支部保護司9名が規定に基づき選定し、県に小学校1点、中学校2点を推薦しました。応募した小中学校児童生徒全員にお礼のメッセージを添え記念品を届けました。

研修部会

「人生に無駄な学びはない。」
佐藤 健一

時がすぎるのは早いもので、私が保護司になって早15年程でしょうか。喜ばしいことですが、久慈地区は犯罪が決して多い地域ではありません。

10年経つ頃までは担当を持つこともなく、保護司としての活動は研修部会への参加がメインでした。当時は実践なしの研修内容に「理解を深め自分の中に落とし込む。」ということが難しいように感じていました。しかし、担当を持つようになった今、あの時の知識が形となり活かせていると実感しています。ここにきて研修部会に出席してきたことへの深い意義を感じています。

また、保護司という活動の特性上、守秘義務もありむやみに活動内容や悩みを人に話す事はできません。そういう意味で、同じ活動をする仲間と学びや情報交換が出来る研修部会は、今も有意義な時間となっております。久慈地区の保護司会の皆様に感謝致します。

サポートセンター
活動報告

城石加代子

サポートセンターは平成29年7月に開所し8年目を迎え、会議や交流の場として面接場所として機能しています。

○サポートセンター運営委員会
委員長・副委員長・庶務・会計・委員等11人で構成しています。

4月10日 水府支所大会議室
○企画調整保護司
保護司21名でサポートセンターの当番を行い問題点や改善策について検討を行い使用し易いサポートセンターを目指しています。

○新企画調整保護司説明会
新しく企画調整保護司に指名された保護司にサポートセンターの当番の役割や仕事等について説明しスムーズな運営体制を整えます。

○保護観察官との情報交換
年5回定期駐在の午前中に実施しています。保護観察中

の事案について観察官や企画調整保護司等の経験ある保護司と直接相談できる機会として利用されています。

協力組織部

古川 正美

協力組織部は各地区保護司会に設置されている活動組織の一つで、刑務所出所者や保護観察対象者をその事情を承知の上で雇用することで、更生保護活動に協力して頂いている「協力雇用主」との連絡調整等を主な業務としております。

久慈地区保護司会においては常陸太田・大子両支部併せて21の事業所が「協力雇用主」として登録されておりますが、毎年各事業所に対し日頃の更生保護活動への協力に感謝し、また今後の保護司会との連携強化を図る目的で文書を送付したり、時には事業所を訪問することも行っております。

本年度も例年通り各事業所に対し謝意を表した文書と共に、「更生保護カレンダー(卓上用) 及び広報紙「更生保護久慈」を同封して発送いたします。

広報部

山崎 仙一

広報部では、今年度も親しまれる広報誌づくりを目指して、「更生保護久慈」の発行に取り組みました。

10月8日に第1回広報部会を開催して編集作業がスタートしました。8ページの紙面の中で、どのような記事を掲載するか、レイアウトをどのようにするか、7名の部員により話し合いました。その後、執筆者へ原稿作成を依頼し、記事の集約後、紙面への貼り付け作業を行いました。その後、印刷会社へ原稿を入手し、途中、校正作業を経て3月1日の発行に至りました。

執筆に当たっては、編集作業の効率化を図るため、電子データによる原稿の作成を依頼しました。また、編集に当たっては、広報部員が自分のパソコンを持ち寄って作業を行いました。そして、「更生保護久慈」は、平成30年3月1日発行の創刊号から数えて、第20号という節目の発行を迎えることができました。

最後に、皆さまが、寄稿いただいた皆様、関係者の皆様、心より感謝申し上げます。



大子支部研修視察旅行
新潟県村上市の保護司会との交流
菊池 弘

11月6日(木)～7日(金)の2日間、久慈地区保護司会大子支部の研修旅行を実施しました。今回の研修では、保護司の本間清先生(新潟県村上岩船地区保護司会山北分区)を講師にお迎えしてお話を伺いました。

6日の朝5時30分、大子支部の総勢7人(うち1人は保護司の家族)は、菊池均先生の藍綬褒章受章という輝かしいニュースと一緒にレンタカーに乗り込み、山形県鶴岡市へと向かいました。途中、月山ICで山形自動車道を降り、国道112号(通称・月山道路)に入ると山々は紅葉まっさかりで目を奪われる美しさ、今回の研修への期待も高まります。

はじめに訪れたのは、鶴岡市にある曹洞宗の寺院・西光寺。日本海に面した海岸沿いにある寺院で、少し南にいけばすぐに新潟県という位置関係にあります。ここは、大子支部長の出村先生の大学時代からの友人の方が住職をされています。鶴岡市内にある曹洞宗の古刹・善寶寺と所縁の深い寺院を案内していただいたあと、ご住職のお話を伺

いました。ご住職の父親も長く保護司をされていて、そのときのご苦労などについてお話をいただきました。ご自分は保護司を受けないのかというこちらの質問に対しては、「退職してやっと住職に専念できるようになった。もうしばらくはこの状況を続けたい」とおっしゃっていました。

次に、西光寺を後にして海岸線の道路を北に進み、宿泊先の由良温泉のホテルへと向かいました。

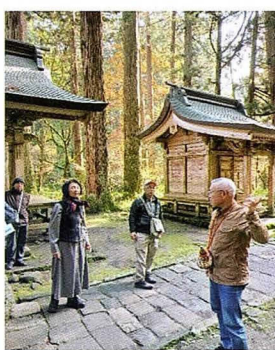
講演の中で、本間清先生は、保護司として地域での犯罪や非行を防止すること、罪を犯した人が社会の中で再犯せずに生活していくための支援をすることが大切であるとして、地域住民の協力を得ながら、更生保護女性会や民生児童委員、さらには自治会長、学校、人権擁護委員など多くの団体と連携することが大切だと強調されていました。その上で、本間先生が所属する山北分区の具体的な活動事例についてご紹介



いただきました。特に、「愛のサツマイモ収穫プロジェクト」では、保護司と更生保護女性会、そして中学生がサツマイモ栽培を通して交流し、チームワークのよさを体験するとともに、一人一人の主体性が高まっていたというお話が印象に残りました。

また、山北分区では「社会を明るくする運動」の街頭活動に中学生も参加しているということ、住みよい地域社会づくりにみんなが協力して取り組んでいる様子が伝わってきました。

研修の2日目は、羽黒山神社を巡りました。案内してくださったのは昨日の講師の本間先生。先生は月山観光ガイドもされている方で、自ら案内を申し出てくださいました。



きりりと引き締まった空気の中、本間先生の案内で境内を巡り、羽黒山の歴史や修験道の歴史などについて詳しくご説明いただき、とても有意義な時間となりました。

計報
仁平忠良(令和8年1月26日逝去)心からご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

当保護司会では、昨年から少しずつICT化に取り組んでいます。紙の広報誌を大切にしつつ、今回は、久慈地区保護司会のホームページにアクセスできるようにQRコードを掲載しました。無理に使う必要はありませんが、もし気が向いたら、そつとスマホをかざしてみてください。新しい扉が、静かに開くかもしれません。スマホが得意でなくても大丈夫です。読み取れなくても誰も困りませんし、うまくいったら少し誇らしい気持ちになれるかもしれません。また、「どうやって読むのだろう」と思ったら、身近な方に聞いてみてください。その会話も、ちよつとした交流のきっかけになれば嬉しいです。(鈴記)



久慈地区保護司ホームページ QRコード

広報部員

- 近津 春美(大子)
- 岡部 智子(常陸太田)
- 赤須 重(常陸太田)
- 鈴木 通重(常陸太田)
- 佐川 洋一(常陸太田)
- 佐池 和広(常陸太田)
- 菊池 均(大子)
- 山崎 仙一(大子)